
静岡駅南口駅前広場再整備事業

静岡駅南口駅前広場再整備基本計画（抜粋版）



令和７年３月　都市局　都市計画部　景観まちづくり課

1 目指す方向性

南口駅前広場は、人にも車にも使いやすい、安全な広場を目指します。静岡駅南口再整備検討委員会では、
新しい南口駅前広場が「地域にひらかれた“未来につながるまちのロビー”」となることを目指し検討を進めました。

■解決すべき課題

1．空間の不足と交通の混在



自家用車・バス・タクシーがロータリー内で混在しており、特に自家用車が著しく混雑しています。

2．歩行者の快適性欠如



歩行者空間が狭く、バス・タクシーの待機列と混在しています。
　また、安心して待ち合わせや休憩できるような空間がありません。

3．駅とまちとの分断



　駅とまちが**ロータリーや道路で分断**されており、駅から街に向かう歩行者動線が十分に確保されていません。

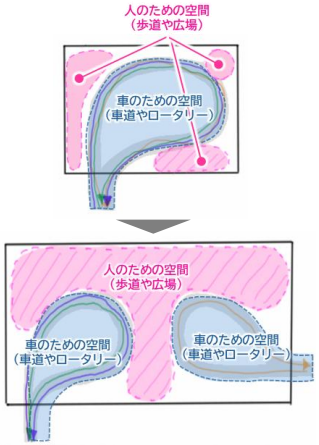
■静岡駅南口駅前広場再整備検討委員会で掲げたコンセプト

地域にひらかれた“未来につながるまちのロビー”へ

静岡市の新幹線口として、また静岡駅南口エリアの中心地として、交通機能を十分に発揮するとともに、市民や来街者といった多様な人々が安心して利用でき、街のにぎわいを感じることのできる**”まちのロビー空間”**となる様な駅前広場を目指します。

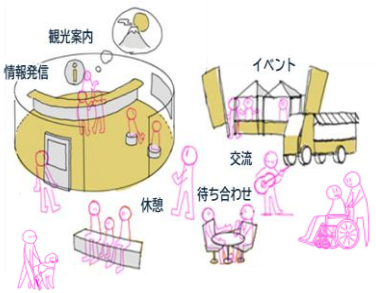
■目指す方向性

1 人と車、両方が使いやすい駅前広場をつくります



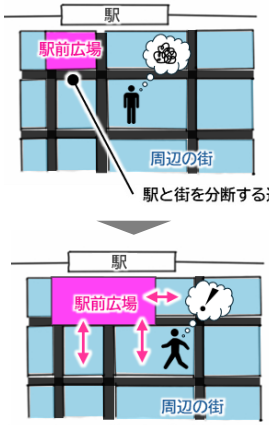
駅前広場を拡張し、人のための空間を確保するとともに、公共交通と自家用車を分け、安全なロータリーへ改善を目指します。

2 多様な人々が安心して利用できる広場をつくります



駅南北の動線の一部として、市民や来街者など多様な人々が安心して快適に利用できる広場を目指します。

3 駅と周辺の街が一体となった空間をつくります



駅と周辺の街を歩行者が自由に往来できる空間をつくり、駅周辺が一体となって機能する、活力あるエリアを目指します。

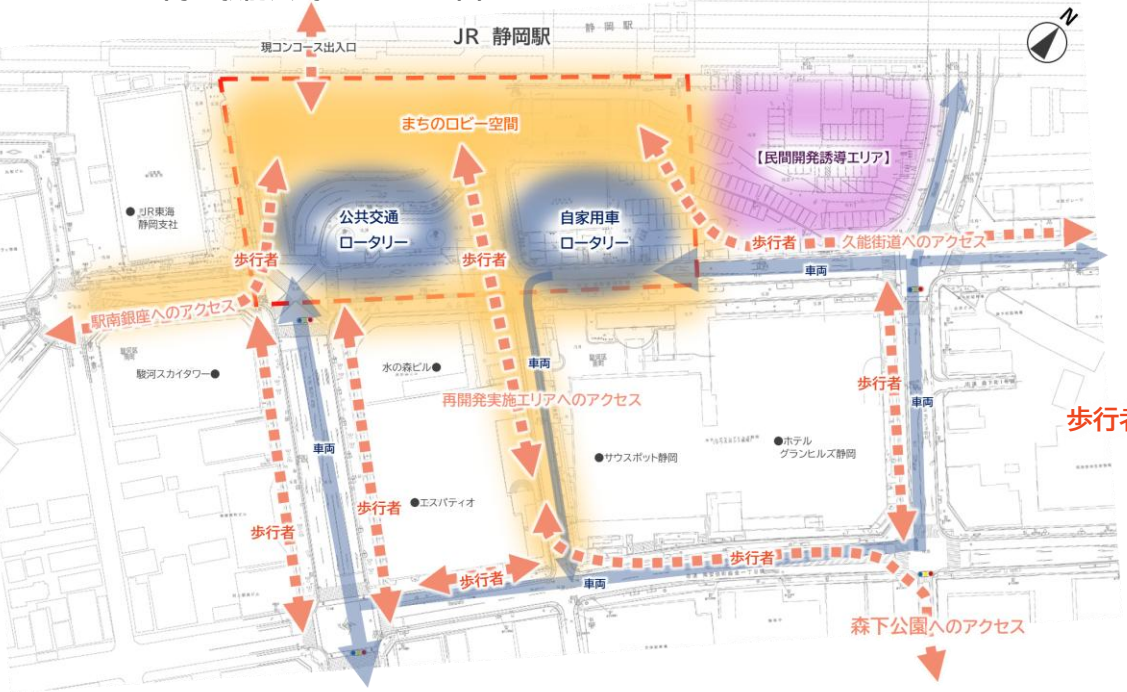
2 ゾーニング・公共交通と自家用車の配置方針

現在の南口駅前広場前を通過している道路を廃止し、歩行者がグランドレベルで、安全・快適に駅とまちとを移動できる空間を確保します。
車両ロータリーはバス・タクシー用と自家用車用の２つに分離・拡張し、車両が安全・快適に使えるようにします。

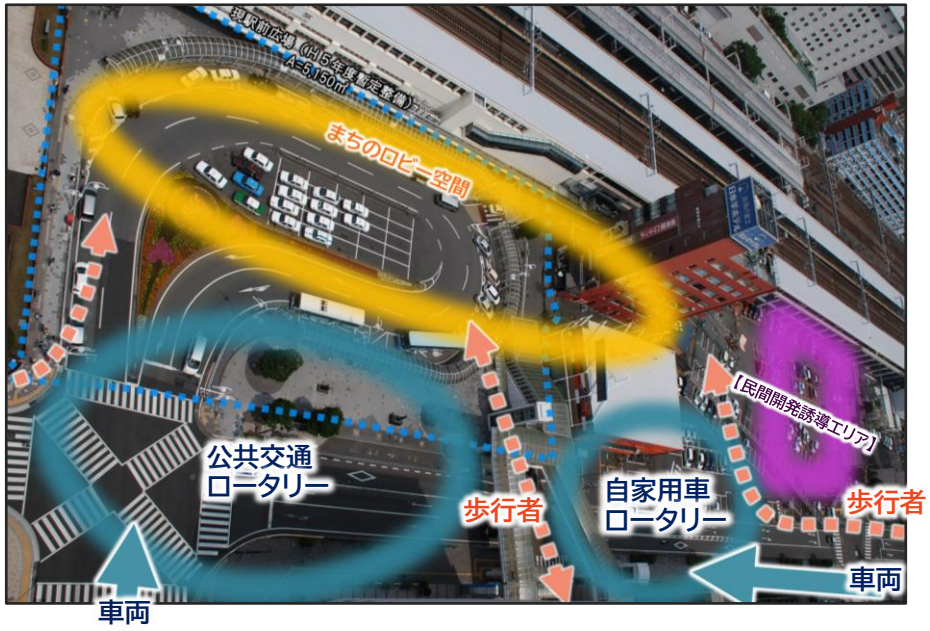
※ロータリーの配置の根拠については資料編参照

■ 南口駅前広場ゾーニング図 ※

※ゾーニング図：機能によりエリアを分けた図



■ 南口駅前広場ゾーニング図と現況との比較



- 既存道路空間を広場に取り込み、歩行者動線を歩きやすいグランドレベルに確保するとともに、ゆとりある駅前広場を実現します。
- 公共交通ロータリーと自家用車ロータリーを進入路から分離することで、混雑しにくい駅前広場を実現します。
- 交通機能については、コンコース前に公共交通ロータリー、広場東側に自家用車ロータリーを配置します。

3 広場の機能（「まちのロビー空間」を構成する機能）

アンケート結果などを踏まえ、南口駅前広場の再整備において、「まちのロビー空間」を構成する機能を、「気軽に立ち寄れる憩いの機能」・「お出迎えの機能」・「人と文化の交流機能」としました。

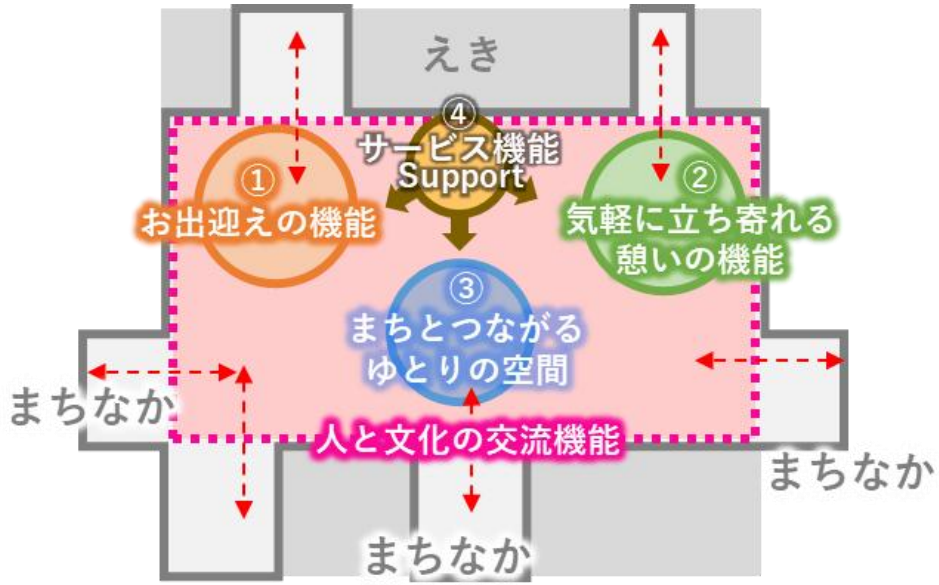
※利用者アンケートから分かる広場機能の需要については資料編をご覧ください。

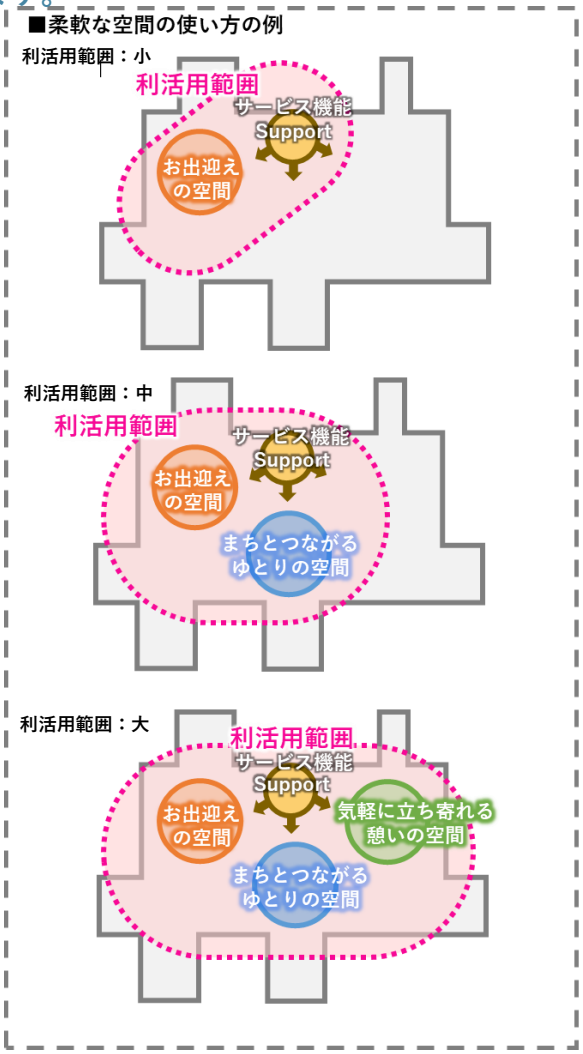
「まちのロビー空間」を構成する3つの機能

気軽に立ち寄れる憩いの機能	お出迎えの機能	人と文化の交流機能
・休憩・待ち合わせスペース ・ひとりで滞留できる場所 ・親子連れが休憩できる場所	・静岡を感じられる場所 ・観光・交通案内施設 ・地域の情報発信スペース	・イベントスペース ・コミュニケーションの場 ・文化の発信ができる場
		
・広場利用者が、利用時間や人数、天候に関わらず気軽に立ち寄れる。 ・バス・タクシーや一般車の送迎の待合いのちょっとした時間でくつろいだり、新幹線到着までの時間で仕事をしたり、学校帰りに友達とおしゃべりしたり、様々な利用ができる。	・広場利用者を地域のコンテンツでお出迎えする。 ・地域の最新情報に気軽に触れられることで、観光客だけでなく、ビジネス客や近隣住民にとっても改めて地域を知る機会となり、まちなかへの回遊のきっかけとなる。	・広場利用者が自由に交流できる。 ・地元の商店街や学校、企業等と連携し、多様な内容や規模のアクテビティが広場内で展開でき、広場利用者が地域により深く関わりたくなる。

4 広場機能の配置の考え方

「お出迎えの場」、「気軽に立ち寄れる憩いの場」、「まちとつながるゆとりの空間」や、それぞれの場でのアクティビティを支援するサービス機能を配置し、これら全体で「人と文化の交流機能」を確保します。
また、人のための空間をグランドレベルに確保することで、利用しやすい空間とします。





- 予想される歩行者通行量や駅舎出入口との関係性から、開放感のある「お出迎えの機能」を駅コンコース前（①）に、「気軽に立ち寄れる憩いの機能」をASTY出入口前（②）に配置します。
- ２つの広場の間に、駅前広場とまちなかをつなぎ、イベントや休憩等多様な使い方を可能とする「まちとつながるゆとりの空間」を配置します。（③）
- 各空間における利活用をサポートするサービス機能（④）を導入します。
- 「人と文化の交流機能」については、アクティビティの規模や内容によって多様な空間の使い方ができるよう、駅前広場全体で機能を担うものとします。
- 雨に濡れずに歩いて行ける歩行者動線・乗換動線や滞留空間の屋根を検討していきます。
- 持続可能でフレキシブルな駅前広場※を目指し、グランドレベルは可能な限り広場空間とします。また、その上空部分は立体利用による屋内施設の配置を検討していきます。

※持続可能でフレキシブルな駅前広場：堅牢な構造物等を極力減らし、社会情勢の変化に合わせ容易に形を変えられる駅前広場

5 静岡駅南口駅前広場の将来の姿

※あくまで現時点での再整備案であり、実際の整備内容を確定するものではありません

自家用車ルート
路線バスルート
歩行者動線

■現況平面図



広場面積
約２倍

■現時点での整備案平面図



■現状の課題

① 自家用車・バス・タクシーがロータリー内で混在しており、特に自家用車が著しく混雑しています。

② 歩行者空間が狭く、バス・タクシーの待機列と混在しています。また、安心して待ち合わせや休憩できるような空間がありません。

③ 駅とまちがロータリーや道路で分断されており、駅から街に向かう歩行者動線が十分に確保されていません。

■再整備時の機能配置の考え方

① 公共交通（バス・タクシー）ロータリーをコンコース前に配置します。バス乗降場を増やすなどし、公共交通を使いやすくします。

② 自家用車専用ロータリーを新たに設置します。広場東側からのアクセスとし、降車場と乗車場を分離するとともに、利用可能台数を増やします。

③ 歩行者が駅からまちへと地上を自由に移動できる形とします。

④ 石田街道における自家用車の通行が減少するため、余剰となった道路空間を活用し、貸切バス乗降場やにぎわい創出などの広場に必要な機能の配置を検討します。

⑤ 区画整理等の基盤整備により広場隣接地に民間開発を誘導します。

5 静岡駅南口駅前広場の将来の姿

※あくまで現時点での再整備案であり、実際の整備内容を確定するものではありません

イメージパースについて、
右の二次元コードより
動画がご覧になれます。

■イメージパース（広場上空より）



■イメージパース（広場南西上空より）



■イメージパース（広場北上空より）



■イメージパース（駅コンコース出入口より）

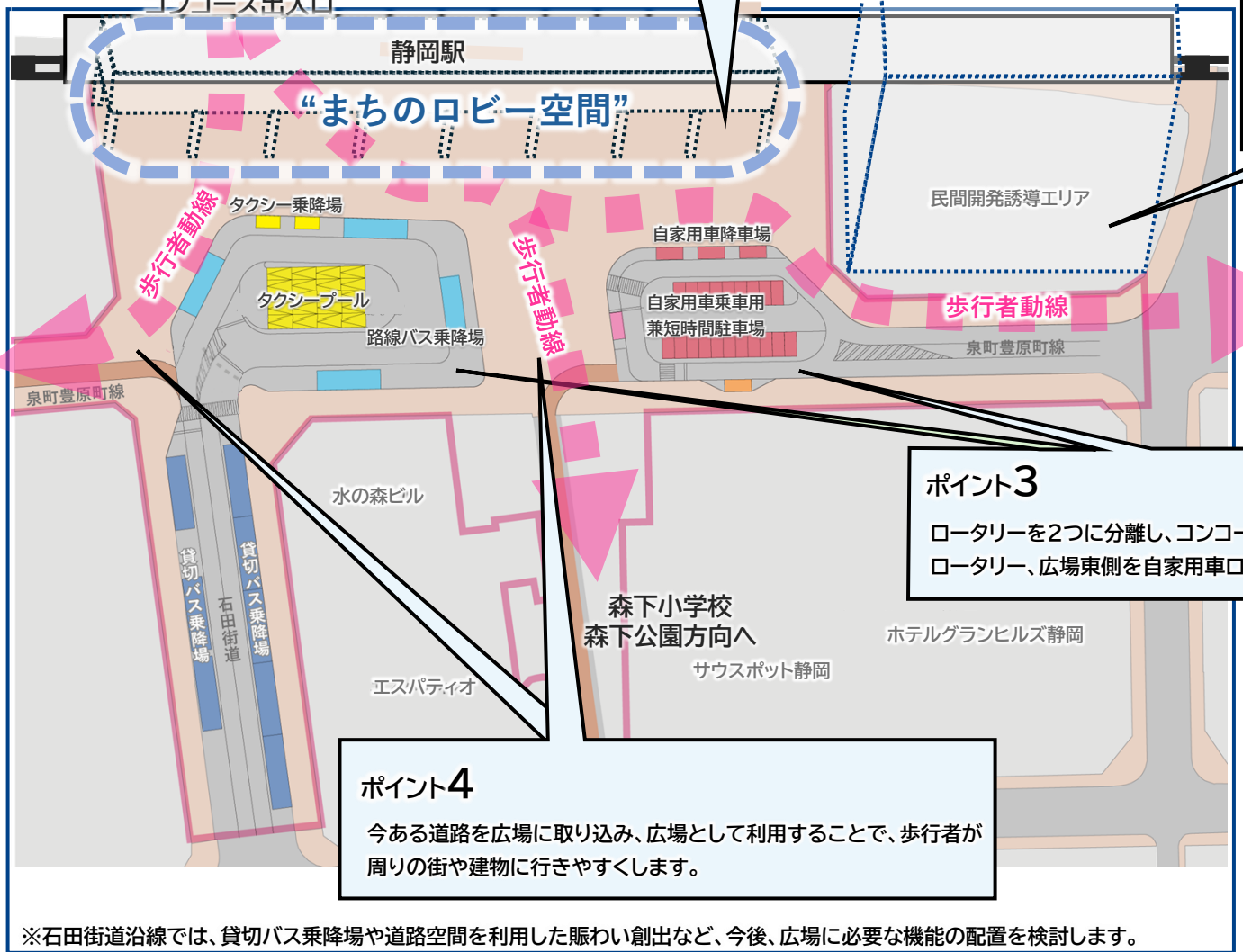


6 将来の姿の５つのポイント

ポイント1
広場の面積を現在の約2倍に広げます。
人と車がゆとりをもって
広場を利用できるようにします。

ポイント2
歩行者のための空間をつくります。
建物を配置するなどして、居心地が良く、にぎわいが
生まれる場所をつくります。

ポイント5
土地の形を整え、広場の隣に、
民間開発を誘導します。



駅南銀座方向へ

久能街道方向へ

ポイント3
ロータリーを2つに分離し、コンコース前を公共交通（バス・タクシー）
ロータリー、広場東側を自家用車ロータリーにします。

ポイント4
今ある道路を広場に取り込み、広場として利用することで、歩行者が
周りの街や建物に行きやすくします。

※石田街道沿線では、貸切バス乗降場や道路空間を利用した賑わい創出など、今後、広場に必要な機能の配置を検討します。

これまでの検討委員会での協議内容は
下の二次元コードよりご覧になれます。

7 静岡駅南口駅前広場の将来の姿の実現に向けて

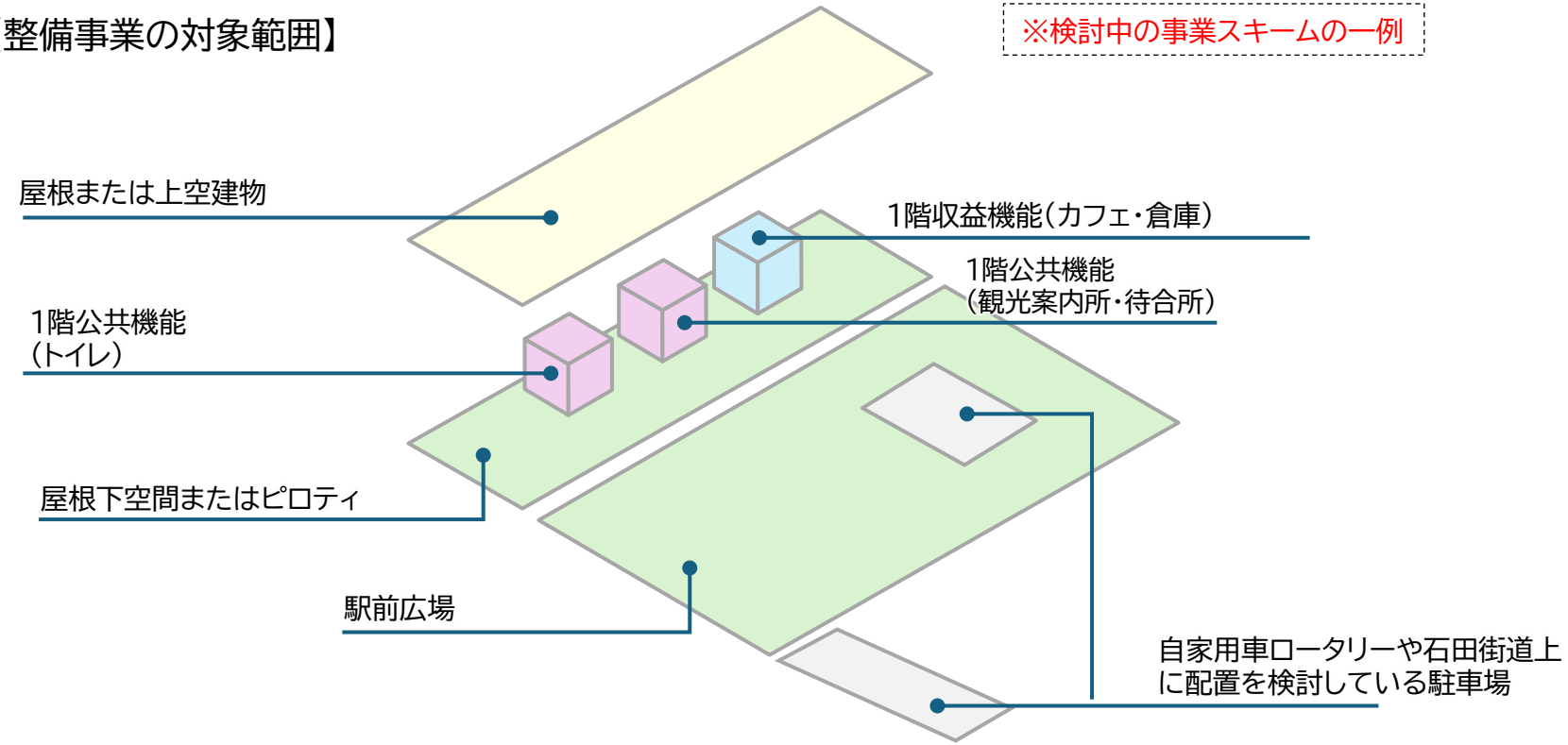
- 静岡駅南口駅前広場の将来の姿の実現に向けて、以下の流れで検討を行っています

1）エリアマネジメントの大きな方向性の検討
2）具体的な活動例の想定
3）担い手の概略検討

→ 4）事業スキームの検討

【整備事業の対象範囲】

※検討中の事業スキームの一例



※ここではエリアマネジメント（以降「エリマネ」）を、**南口駅前広場の活用を継続的に行う活動や運営の仕組み**と捉える。

ご意見いただきたい内容

今後、広場設計を進めていきますが、広場空間の有効活用のため
駅前広場全体で整備を行い街の回遊や賑わいを活性化させます。

- 広場空間と一体となって「まちのロビー空間」を実現するための屋根又はピロティ空間を有する建物の想定（指定管理含む）
- 駅前ロータリーや石田街道沿いの駐車場運営の想定（指定管理含む）
- 広場空間での活動、イベントの実施想定（指定管理含む）
- 上記含む、駅前広場全体でのPPP/PFI手法導入の想定

どのような範囲及び条件であれば、事業展開が見込めるか幅広くご教示願います。

敷地・建物、法規制等の条件については以下のとおりです。

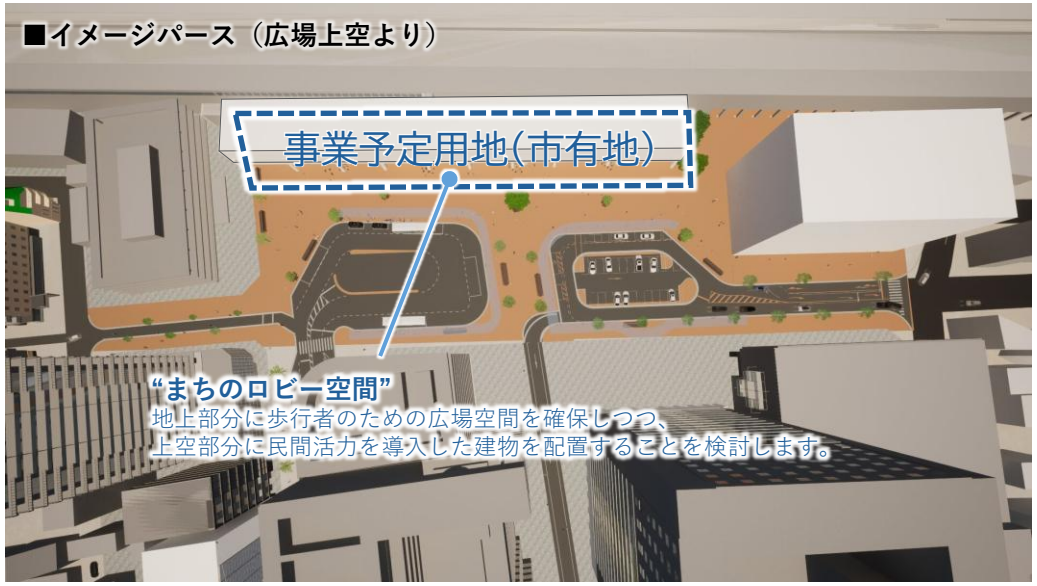
■敷地・建物の条件

項目	詳細
敷地面積の想定	約3,600㎡（30m×120m程度）
建物規模の想定	１階施設面積　～600㎡（最大） ２階施設面積　～3,600㎡（最大） ３階施設面積　～3,600㎡（最大）
建物機能の想定	１階　待合所、トイレ、観光案内所、カフェを想定 ２階・３階　収益施設等
建物ボリュームの条件	圧迫感のない低層（３階建程度）を想定
活用制度	立体都市計画の活用（予定） （１階を交通広場）
デザインの条件	デザイン会議の対象建物となり、デザインに関する会議意見反映が必要となる。

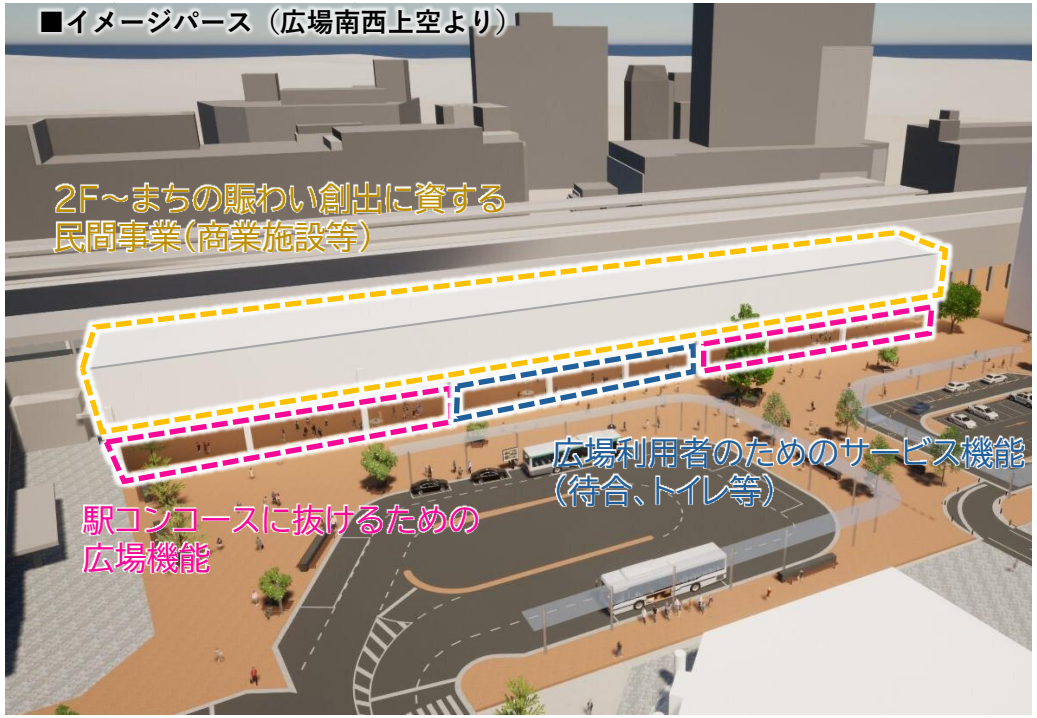
■法規制等の条件

項目	詳細
用途地域	商業地域
建ぺい率、容積率	80%、500%
防火・準防火地域	準防火地域
立地適正化計画上の位置付け	都市機能誘導区域 居住誘導区域

■イメージパース（広場上空より）



■イメージパース（広場南西上空より）



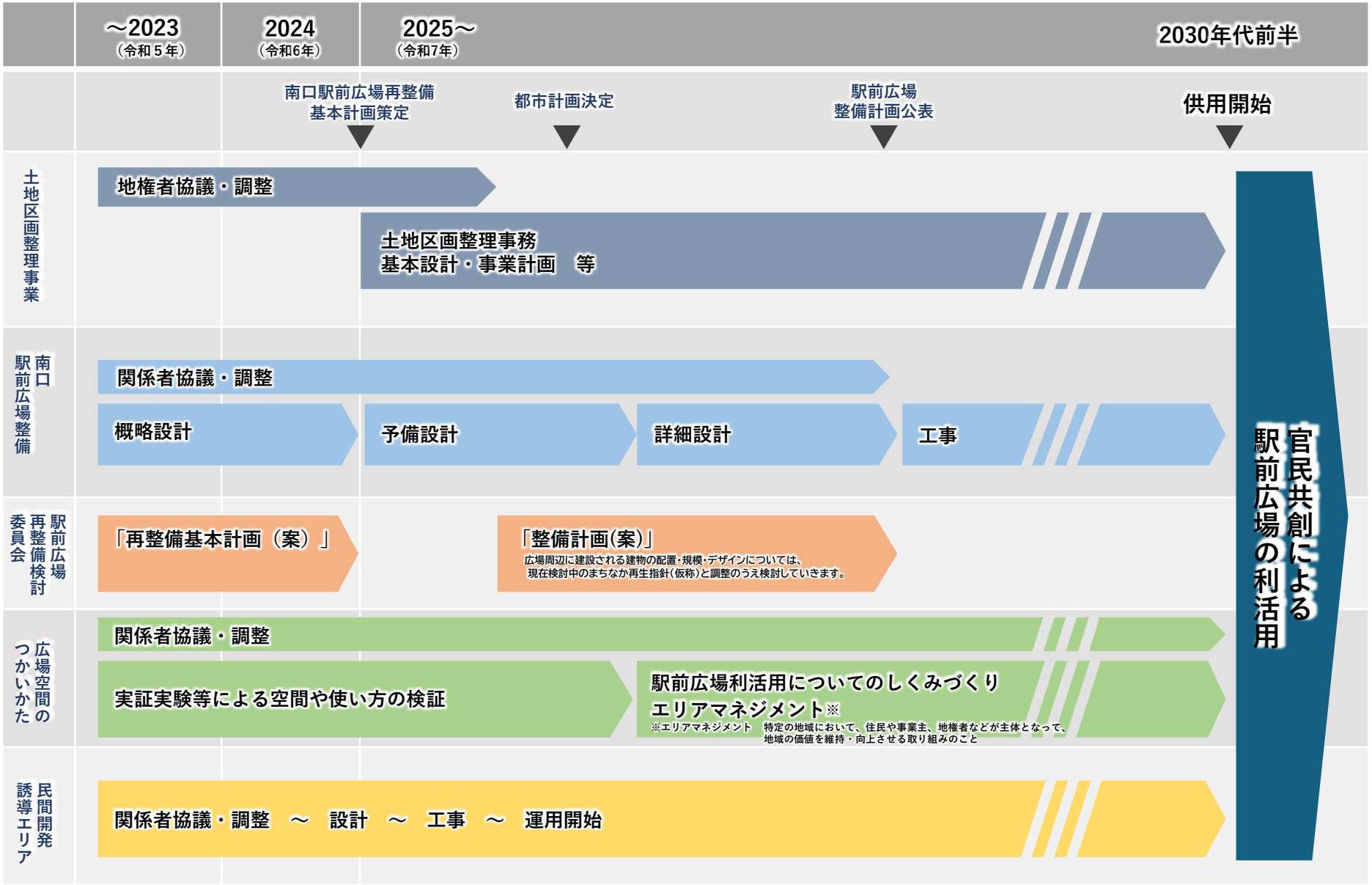
建物規模の条件は、民間事業者の意見を踏まえて今後設定していく予定です。
以下は、建物ボリュームに応じた広場空間の見え方をスタディしたものであり、事業性や広場空間にとって望ましい建物希望についてご意見いただければ幸いです。

■建物ボリューム感

コンパクト案	最大案
	
	

8 駅前広場整備のスケジュール案

※現時点でのスケジュール案であり、今後の検討や状況変化により変更することがあります。



駅前広場整備について
詳しくはこちら

市公式ホームページ
「静岡駅南口駅前広場再整備事業」